

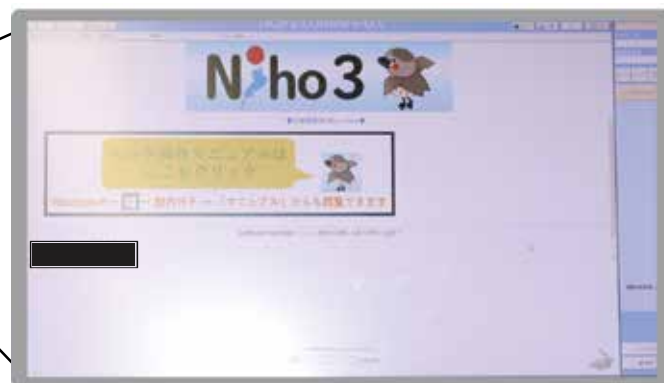
テーマ：電子カルテへの入力の手間を削減したい

■ 背景

電子カルテは医師や看護師が診療の経過を電子的に記録するシステムである。血圧や心拍数などのパラメーターを入力するboxはあるが、医師はもちろん看護師が入力する場合もある。誰が入力するにせよ、ヒューマンエラーをゼロにすることは困難である。それらのパラメーターは経時的推移を瞬時に出力することが可能であり、そのデータは今後の治療・看護方針を考える際に参考となる。また、退院時に治療まとめを作成する必要があるが、情報流出防止の観点からコピー＆ペーストが使えず、医療従事者が手入力するためその作業に労力と時間を取られる。



<出典：看護roo!>



■ 課題

- ①多くのパラメーター入力、まとめ作成は手間である
- ②人の手で入力する以上、入力ミスは避けられない
- ③入力boxが深層にある場合、入力に時間がかかる
- ④備考欄に数値を入力する医療従事者もいる

■ 課題解決による効果

- 入力時間が削減できると、
- ①診察・看護に時間を振り分けることが可能となる
 - ②患者さんの診察待ち時間を短縮できる
 - ③医療従事者の働き方改革につながる

■ 市場性

パラメーターの具体的な項目はもちろん課題解決に向けたアイデアがありますので、私たちと協働して課題解決に当たってくれる企業を求めています。

電子カルテは令和2年時点で、一般病院4,109施設、一般診療所51,199施設が導入済で、今後も増加することが予想される(普及率は約50%、厚労省 医療施設調査より)。全国の多くの医療従事者は私たちと同じ悩みを持っていると思いますので、上記課題を解決したシステムには大きな市場性があると考えられます。

■ 臨床看護学講座成人看護学ホームページ

<http://www.shiga-med.ac.jp/~hqahn/>